

番号	タイトル	所要 時間 (分)	カテゴリー	内容	字幕	副音声	解説書
47	自立をめざして --- ～アジアの女性と子どもたち～	30 VHS	外国人の人権	「国際人権シリーズ II」 アジアの女性と子どもの自立を通して人権を考える。	なし	なし	なし
48	日本の国際化と人権 --- ～違いを認め合う地域社会を～	25 VHS	外国人の人権	「国際人権シリーズ III」 一つの町に異なる文化をもつ人々が暮らすことがあたりまえとなった今、住民一人ひとりにも多様な役割が求められている。	なし	なし	なし
56	街かどから	25 VHS	外国人の人権	若者の事故をきっかけに、地域の間関係の希薄さ、身勝手さが浮き彫りになってきます。大人、若者、外国人などの枠を超えた交流の中から、偏見や異質性を排除する意識に気づく。	なし	なし	なし
68	ハルモニたちは踊る --- 在日コリアン1世が歩んだ道	30 VHS	外国人の人権	「在日外国人問題の原点を考える シリーズ①歴史編」日本の朝鮮植民地支配のため、意に反して日本で暮らさざるをえなくなった在日コリアンの歴史を、日本人に知ってもらうことが共生への第一歩と考え、徐玉子さんはハルモニたちの人生を記録に残すことを始めた。	なし	なし	なし
69	オモニの想い --- 在日コリアンの戦後、そして今	30 VHS	外国人の人権	「在日外国人問題の原点を考える シリーズ②現状編」戦後、日本政府により一方的に日本国籍を剥奪された在日コリアンは、長い間、国籍の違いによる差別に苦しんできた。在日三世、四世の若者たちが国籍や民族の違いを理由に差別されない日本社会を願って、申点紛さんはオモニとしての想いを語る。	なし	なし	なし
70	出会い --- 在日コリアン3世と日本の若者たち	30 VHS	外国人の人権	「在日外国人問題の原点を考える シリーズ③展望編」在日コリアンに悪いイメージを持つ日本人もいて、差別を避けるために、本名を隠して日本名で暮らしている若者もいる。そうした中で、民族の違いを認め合い、友情を深めている在日コリアンと日本人の若者たちもいた。亜美さんと日本の若者たちはその「出会い」のなかから、お互いのルーツを見つめあい、真に共生できる未来を模索し始めた。	なし	なし	なし

102	名前・・・それは燃えるいのち (アニメーション)	18 VHS	外国人の人権	ひとりにひとつ、誰もが持っている名前。自分の名前、友だちの名前・名前に入れられた思いに気づいたとき、ひとりひとりの命の大切さ、違いの素晴らしさが見えてきた。民族名を隠していた中学生の頃、姜先生が出会ったのは、ゴダイゴの「ビューティフル・ネーム」でした。	○	なし	なし
111	～企業と人権シリーズ第3弾～ --- 外国人労働者問題から多民族共生を考える	32 VHS	外国人の人権	従業員の2割が中国人という大阪の中堅建設会社に密着取材。研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態をドキュメントしながら、利潤追求というリアルな現実のなか、どう人権問題と真剣に向き合ってきたのか、中国ロケを交えながら描く。	○	なし	なし
124	人権を考える！女性と子どもと母親	30 DVD	女性の人権 同和問題 外国人の人権	キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、悩みながら、日々の生活の中から誤った知識や偏見の有ることに気づき、同和問題をはじめ、女性差別・在日外国人差別など、人権問題を学び、差別解消に向かって行動していく人権学習教材。	なし	なし	なし
144	ほんとの空 --- 「意識と人権」 --- ～あなたの思いを わたしのものに～	36 DVD	高齢者 の人権 外国人の人権	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これら多くの人権課題に共通する根っこの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。そのことを主人公・弓枝（一人息子と夫）の姿を通して、見つめる物語です。	○	○	なし
180	平成28年度法務省人権啓発教材 --- 外国人と人権 --- 違いを認め、共に生きる	33 DVD	外国人の人権	このDVDは、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるための何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。	○	○	○
192	サラーマット～あなたの言葉で～	36 DVD	外国人の人権	近年学校や職場、地域など様々な場面で外国の人々と接する機会が増えています。このDVDは異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく、そんな多文化共生社会の実現をめざす内容です。また、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心を繋ぐために利用する様子を描いている。	○	なし	○